

2021 年度第 6 回理事会 議事録 2021.11.21

日時：2021 年 11 月 21 日（日）13：00～16：10

場所：オンライン開催のため各自自宅・職場

出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、神田崇央、佐藤範明、木村修介、望月強併、澤口勇、西川航平、大郷一成(16 名)

欠席理事：野本義則、戸塚香代子(2 名)

出席監事：錠内広之(1 名)

欠席監事：野々垣睦美(1 名)

I. 会長より挨拶

本日は来年度の事業計画と予算案について検討します。県土会の財源については限りがあり有効的に活用していくが肝要です。建設的により良い県土会活動ができるように会員の声を反映した組織づくりをしていきましょう。前半を通常の理事会にて多数の審議事項を後半は事業計画と予算案について検討しますので協力を願います。理事会の司会進行は吉本事務局長にその任を依頼するがよろしいか。(全理事承認)

II. 報告事項について(トピックス・各部署・理事)

【トピックス】

1. 代議員選挙について 池田選挙管理委員長欠席のため金山副会長代行

(1)今後のスケジュールの確認

ア)公示：web 掲載(依頼中/2021 年 11 月 10 日～12 月 20 日まで掲載予定)

212 号(12 月号)にチラシ封入(高揚印刷にチラシ直送)

イ)立候補届の受付期間：2021 年 12 月 1 日(水)～12 月 15 日(水)/2 週間

ウ)立候補者数のご報告：2021 年 12 月 16 日(木)ごろ

エ)立候補者が定数未満の場合：推薦候補の受付期間：2022 年 1 月 5 日(水)～1 月 26 日(水)/3 週間

オ)立候補者が定数以上の場合：投票用紙の発送・受付：調整中

カ)代議員決定の報告：2022 年 1 月 28 日(金)

【各部署】

1. 事務局

(1)県土会事務所・備品使用時の手続きについて

県土会事務所ならびに備品を使用する際の手続きについて明文化し使用する際の方法を周知

2. 学会評議委員会(田中副会長より代理報告)

(1)第 18 回神奈川県作業療法学会について

現時点で参加申し込み者数は 150 名程度。12 月 3 日まで参加申し込みを延長する。

(2)第 19 回神奈川県作業療法学会について

学会長候補の内諾をいただいた。審議をお願いしたい。

3. 認知症対策委員会

(1)認知症の人と家族の会からアンケートの調査協力依頼について

対象の方がいれば各理事にもアンケートに協力をお願いしたい。アンケートの回答の入力は当事者または家族が行う。資料に記載がある Google フォームから行うよう促してほしい。

4. エリア化推進委員会

(1)OT コネクトミーティング報告

神保会長より今まで実施してきたコネクトミーティングの内容を是非理事にも共有してほしいとあり。

ア)実施報告について

第1回：9月13日 参加者：16名（部員含む）

神保会長より「県士会の未来予想図」をテーマに講演 参加者と「OTの魅力」について語り合った

第2回：10月18日 参加者：24名（部員含む）

野々垣睦美氏より「OTの魅力を語ろう！」をテーマに県外OTや学生も参加し多様な語り場となった

第3回：11月13日

木村修介氏より「訪問OTの魅力を語ろう！」をテーマに話し合った

第4回：12月9日 テーマ：発達OTの魅力を語ろう！ ゲストスピーカー：高橋香代子氏 を予定

イ)OT コネクトミーティングの呼びかけの依頼

リアルタイムでの参加者同士のコミュニケーションを目的としている。学生も含めて多様な方々に参加してもらいたい。周囲のOTや学生への周知宣伝をお願いしたい。

ウ)アンケートについて

参加者にアンケートを実施中

参加しやすかった,もっと話し合いたかった,目的が今一つ明確化されていないなど多様な意見があった

【理事】

1. 大郷理事

(1)地域支援活動実態調査について

ア)アンケートの実施について

12月1日より会員向けアンケートの実施を予定 周囲の会員への協力推進をお願いしたい

県士会ニュースとホームページに詳細を掲載する予定

2. 木村理事

(1)県介護予防ワーキンググループ会議報告

ア)部会長について 神奈川県栄養士の竹田氏が指名された

イ)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施についての概要と要点

3. 金山副会長

(1)選挙ワーキンググループより報告

代議員選挙が12月より開始。選挙管理委員からの質問に対応しつつマニュアルをブラッシュアップ中。

2022年度の役員選挙と三役互選について検討を開始した。

選挙管理委員会の組織図反映について意見交換中。

4. 田中副会長

(1)40周年記念事業について

40周年記念事業企画案と予算概算について説明

ア)記念誌の発刊

イ)ホームページでの40周年の周知活動

ウ)40周年記念 神奈川県士会ロゴマークの作成

エ)つながろう！神奈川 チャレンジ動画の作成

オ)この作業をすると元気になる写真コンテストと写真展

カ)40周年を機に各部署で事業を行う 公開講座,学会ダイジェスト,認知症キャラバン,代議員討論会など

- キ)予算概算 40 万円程度 各部主催の活動は各部予算で賄う
- ク)50 周年記念事業に向けて計画的に積み立てを行う

Ⅲ.審議事項について

1. 新入会員の承認について(吉本事務局長)

2021 年 10 月の新規入会会員についての確認→承認

2. 第 19 回神奈川県介護支援専門員研究大会(吉本事務局長)

後援依頼について→承認

3. 第 19 回神奈川県作業療法学会 学会長について(田中副会長)

理事会推薦 協会番号 12872 茅ヶ崎新北陵病院 藤本一博氏→承認

4. 40 周年記念事業について(田中副会長)

報告事項にて説明した企画案について→承認

記念誌は関係団体や行政に向けて当会の活動や歴史について振り返りと周知目的で作成する

40 周年記念ロゴは今後も県土会のロゴとして活用することを想定している

他団体への後援依頼については検討する

50 周年記念事業に向けた積み立てについては今後の財務状況と照らし合わせて検討する

後援先については年賀状発送先を参考に検討予定

5. 学会長の表彰について(神保会長)

理事会より第 18 回神奈川県作業療法学会学会長の表彰を学会にて行いたい

表彰規程に関し、福利部の規程および内規文章との照合がなされ、今回理事会としての表彰とすることが適切ではないか。予算は事務局にて執行する。今後の学会長ならびに臨床大会長に対して県土会として表彰していきたい→承認

※学会長や学術大会長等は名誉ある役職であるため総会や学会など然るべく場で広く会員に向けて表彰する
以降の表彰の運用についての具体的な方法や規程は福利部にて検討する

6. 公益目的事業プレ開催について(澤口理事)

当初計画していた DVD 上映会からオンライン公開講演会へ内容を変更→承認

今後全領域をテーマにしてプレ企画を検討。アンケートも実施し、公益事業実施の参考としたい

Ⅳ.2022 年度事業計画・予算について

1. 各部署より事業計画と予算概算についての説明

田中副会長が進行を務め、各部・委員会の次年度事業計画を、事前に寄せられた質問にも答える形で報告。

※特記事項のみ記載。

(1)事務局 ¥9,720,000

県土会の運営に関する事業を継続。各理事とのヒヤリングの回数が 1 回に減った理由として今年度は新体制で相互理解のため 2 回開催であったが、次年度は 2023 年度の事業の相談を想定している。

(2)財務部 ¥62,000

県土会における財務管理と調整に関する事業を継続。

(3)学術部 ¥1,204,600

研修会運営、研究助成、学術誌の発行に関する事業を継続。研修会は月に 1 回予定、Peatix 利用予定。学術誌は電子ジャーナル化、オンライン査読システム導入で予算減。今後は完全電子化を目指して検討していく。新規事業の研究倫理審査委員会(仮称)の設置については外部の見識者が加わる必要があるため謝金を計上。

(4)教育部 ¥3,067,100

研修会事業を継続。臨床実習研修についてはアドバンスコースも検討している。事業区分については次回修正予定。

(5)広報部 ¥2,820,000

ニュース発行、対外広報活動事業を継続。ニュースは2700部で計上。デジタル化すると1号10万で済むのでデジタル化について引き続き検討予定。対外広報活動はOT協会と足並みを揃え小中学生向けに実施していく。OT協会の広報媒体を有効に活用したい。新規として新入会啓発事業はOT協会、福利部と協働しながら進めていきたい。

(6)福利部 ¥261,000

新入会オリエンテーション、表彰、倫理、求人事業は継続。表彰の情報を集める方法については模索中。新規事業として会員の交流機会の提供をテーマに、関係部署と協働しながら新入会員促進、会員交流企画、子育て・介護時の県土会活動についての検討を実施予定。関係部署には協力依頼済、予算も福利部で計上済。

(7)地域リハビリテーション部 ¥893,000

研修会、関係団体等との情報交換・調査、情報発信事業を継続。会議費はそれぞれの研修会予算に計上。1回の研修会運営の内訳は1/3が謝金、1/3が会場費、1/3が会議費等事務費となっているため、オンライン開催時は会場費を返金予定。

エース級のOTをどのように増やし、地域で活動できる状態にするかも示してもらおう。

(8)制度対策部 ¥498,340

福祉用具班、自動車運転班、災害対策班の事業を継続。制度対策班は部の活動として吸収し、班は解散予定。研修会では実際に福祉用具等にふれて実演するため会場費がかかる。新規として作業療法のチーフを対象とした情報交換会を行いたい。

(9)規約委員会 ¥141,240

定款・規約の管理、マニュアルの整備事業を継続。会議をすべてオンラインにすると¥21,000削減可能。

(10)ウェブサイト管理委員会 ¥59,740

HP運営事業を継続。HPについて見直し中。ポータルサイトについてセキュリティ面や内容について検討予定。活動費を会議費として計上できないかについても検討してもらおう。

(11)学会評議委員会 ¥230,700

県学会・臨床大会の運営サポート、マニュアル作成事業の継続。会議が多いので再検討する。

(12)公益法人化対策委員会 ¥251,900

公益化に関する情報収集・情報提供、パイロット事業の遂行事業を継続。あくまで調査が主。パイロット事業は4領域で実施する。理事会での公益に関する勉強会開催を委員会主催の事業に変更した。各部との協働は助成金を活用しながら行いたい。

(13)MTDLP推進委員会 ¥165,000

基礎研修会と事例報告会の事業を継続。基礎研修会はOT協会からの指定もあり、7.5時間行う必要があるため研修会費がかかっている。1回50名×2回を想定。事例報告会は1回1名でOT協会への登録が可能になるよう丁寧にサポートすることで参加しやすくなればと考えている。

(14)認知症対策委員会 ¥322,700

研修会、家族の会やイベントへの参画事業を継続。研修会は年2回対面を想定し計上したがオンラインでも開催可能。対外活動も再開予定。

新規事業であるアルツハイマーデーでの企画検討についてはまずは周知から考えている。

(15)地域包括ケアシステム推進委員会 ¥150,500

横浜市への派遣、研修会、啓発事業は継続。研修会についてはアドバンス研修を予定している。派遣事業については会議費を計上。新規事業として人材バンク設立にむけて情報収集を開始したい。地域リハ部と引き続き協働しながら行う予定。

(16)エリア化推進委員会 ¥384,600

OT コネクトミーティング、代議員ミーティング事業を継続。コネクトミーティングは月1回開催、対面での実施も検討。代議員ミーティングは半期に1回年2回開催予定。

新規事業として地域支援活動助成金を提案。県民を対象とした活動の支援とし3名以上団体かつ半分以上が県士会員であることを想定しているが、支援団体数、条件はこれから検討。神奈川全体でネットワークを作っていきたい。

(17)選挙管理委員会 ¥70,000

役員選挙の年のため、今年度より予算が大幅に減っている。前回よりも予算が¥5,000増額になった理由は選挙公報の印刷部数が多くなるため。

2. 財務部より予算案についての説明

ア)2022年度以降の会員数の推移予測について

イ)各部署事業計画案に基づく2022年度予算案の提示と課題について

ウ)県士会資産と今後の推移予測について

3. 質疑応答

収支差について質問あり、入会者がコロナ前より減っており収入が減っていることと今後に備え積み立てが増えていることを説明した。会員が伸びない理由として入会していない対象者が多いことが予測されるため、会員増強WGで検討しているよう入会をうながす見直しは必要。

毎年一定数いる退会の理由について、転出・退会が主であること、神奈川県は流動が大きい県士会に入ること、継続することのメリットについては上記同様検討が必用。

4. 提案

(1)澤口理事より

助成金を活用しての事業展開を進めてほしい。学会の公開講座など積極的に検討をお願いします。

5. 総括

(1)田中副会長より

提案があった助成金の活用に関しては公益法人化対策委員会の公益事業について先駆的に導入し手本となるように示してください。

県士会がこれからも存続できるように資産を有効に活用していきましょう。会員に魅力のある事業を効率よく実施できるように各部事業をもう一度精査して予算を検討してください。

(2)神保会長より

率先して入会者を促進できるように事業を行う事は重要です。会員の声を反映した運営を継続していきましょう。もう少し先の未来を見た時に財源の確保も重要になります。オンラインツールを引き続き上手に活用しながら事業を展開してください。また研修会の参加費なども再検討願います。県士会がさらに発展し会員の有意義な活動が行える運営を実現できる予算計画の再検討をしてください。

V.その他 連絡事項等

1. 議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、錠内監事、佐藤隼理事、西川理事。

2.12月11日(土)47都道府県委員会について

神保会長、田中副会長、澤口理事が出席予定

3. 理事メーリングリスト エラー調査について

事務局より調査引き続き調査の回答について各理事へ依頼

4. 戸塚理事について

11月に出産 おめでとうございます

5. 監事より

長時間にわたる議事運営お疲れさまでした。本日は次年度の事業計画について話し合われました。昨年度と異なることは新型コロナウイルスの流行状況の変化だと思います。来年度は対面式の研修会やイベント開催が期待されており、事業計画立案には大変苦勞されると思います。感染流行状況に合わせて適切な時期に事業が行えるように検討を続けてください。

議事録署名人	議長：	神保 武則	印
	理事：	佐藤 隼	印
	理事：	西川 航平	印
	監事：	錠内 広之	印

次回理事会日程：2021年12月16日(木)19時より開催予定